

2019年度(平成31年度・令和元年度)の 会費の決算状況について

2019年度(平成31年度・令和元年度)の会費部門では、収入のうち会費収入合計は約1,232万円となり、昨年度比で約32万円増加しました。このうち会員からの会費収入は約892万円となり、昨年度比で約26万円減少しています。会員数は少しずつですが減少傾向にあります。

一方、支出については、人件費支出としては計上していませんが、事務費支出で法人本部の職員が兼務で事務を行っていることから、事務費支出の手数料の科目に日当相当額を費用として計上しています。

最終的には収支差額として、「当期資金収支差額合計(11)」では、約93万円を計上でき、次年度に繰り越すことができました。

大阪市手をつなぐ育成会(会費事業) 資金収支計算書
(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日 (単位:円)

		勘定科目	金額
事業活動による収支	収入	経常経費補助金収入	0
		利用者負担金収入	0
		経常経費寄付金収入	355,000
		会費収入	12,320,106
		受取利息配当金収入	0
		その他の収入	688,389
		事業活動収入計(1)	13,363,495
	支出	人件費支出	0
		事業費支出	6,466,515
		事務費支出	5,314,969
その他の支出		656,309	
事業活動支出計(2)		12,437,793	
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	925,702
に 施 設 の 整 備 等	収入	固定資産除却収入	0
		施設整備等収入計(4)	0
	支出	固定資産取得支出	0
		施設整備等支出計(5)	0
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
そ の よ 他 の 活 動	収入	事業区分間繰入金収入	0
		その他の活動収入計(7)	0
	支出	事業区分間繰入金支出	0
		その他の活動支出計(8)	0
			その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)
		予備費(10)	0
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	925,702

前期末支払資金残高(12)	19,007,810
当期末支払資金残高(11)+(12)	19,933,512

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う日常の 変化で、障がい者が今抱える困難について

落語家 桂 福点氏

「大阪市手をつなぐ育成会大会」や「近畿手をつなぐ育成会大会」でもご講演いただいた落語家の桂福点氏が、令和2年5月16日にNHK総合テレビ「おはよう日本」にご出演され、視覚障がいがあるご自身の実体験から、ウイルス感染は障がいのある人にとっては本当に不安がいっぱいであるというお話をされました。

また、令和2年5月19日の読売新聞夕刊や、5月27日の毎日新聞夕刊にも掲載され、「あたらしい生活様式」という日常の変化が、障がいのある人の暮らしに大きな影響を与えていることを発信されています。

モノに触るのは私にとって『目』の役割になります。でも、それが新型コロナウイルス感染の恐怖になりました。

一人で外出する時は、周囲に何があるかを確認するため、壁に触ったり、手すりを握ったりすることが多いのです。

例えば、公衆トイレなどでは汚れていても気づくのは難しく、「感染してしまうのではないかと不安がよぎります。

買い物をする時も戸惑うことが増えました。

感染防止のために距離をとる「ソーシャル・ディスタンス」が定着しましたが、レジで客が間隔を空けて並ぶため、列の最後尾が分からなかったり、つり銭の支払いも手渡しでなくトレーで行われるため、手間取ることも多くなりました。

それから、駅員に誘導を頼むのも、『感染の原因にならないか』と遠慮しがちになりました。

わずかな生活の変化が、障がい者にとって大きな不安の原因になることを理解してほしいのです。

寄席やイベントはキャンセルされ、数カ月先までスケジュールは白紙の状態になりました。

ファンとの交流も兼ねてユーチューブに公式チャンネルを開設しました。

知らぬ間に他人と密着してしまったエピソードなど、視覚障がい者の抱える悩みや不安についてユーモアを交えて紹介していますので、ご覧になってください。

(<https://fukuten.info>)

桂 福点氏